

群馬大学医学部附属病院

# 群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15 / TEL 027-220-7111(代) / ホームページ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

## 群大病院 令和5年度体制のスタート



群馬大学医学部附属病院 病院長 齋藤 繁

### 令和5年度ポストコロナ体制への移行

令和5年度スタートにあたり、病院の運営を支える職員の皆様にご挨拶を申し上げます。苦勞の絶えなかった新型コロナウイルス感染症への対応も4年目に入りました。この間の病院内外での献身的なご尽力に心より御礼申し上げますとともに、社会の皆様から感謝の言葉が多数寄せられていることをご報告申し上げます。諸外国に遅れはしたものの、本年5月8日からは、新型コロナウイルス感染症の扱いも類型変更となり、社会活動は多くの分野で感染流行前の状況に戻っています。しかし、感染症そのものがなくなったわけではないので、今後も流行の波は繰り返されることが予想され、病院での診療体制においては、引き続きの感染対策が求められています。幸い、同感染症が原因の重傷者は非常に限られているため、病院の対応病床逼迫は今のところ発生しておりませんが、職員の感染に伴う職場の人員確保困難は今後も懸念されるため、2019年以前の社会活動を再開しつつも、基本的な感染対策の継続をお願いしたいと思います。

### 令和5年度の課題と展望

さて、令和4年後半以降、昭和キャンパス、医学部附属病院の再開発計画を加速させています。今はまだ事業規模を決めるための需要調査や資金計画作成のための経済動向調査ですが、令和5年度は更に具体的な計画を作り上げる段階になります。もちろん、資金計画策定には現状の経営安定化と再開発資金の捻出が欠かせません。ポストコロナの診療実績を少なくとも全国の国公立大学医学部附属病院の平均以上に

引き上げることが求められますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。特に、燃料価格、原材料価格の高騰は病院再開発を考える際に非常に大きな懸念事項です。長期的に持続可能な病院運営形態、財務体質を綿密に試算しつつ再開発計画を職員の皆様とともに作り上げていきたいと思っております。

今年度、群馬大学は創基150周年を迎えます。これは、教育学部の前身である「小学校教員伝習所」の設立からの年数ですが、群馬大学医学部附属病院も、昭和18年に設立された前橋医学専門学校附属医院を前身として、80年の節目になります。これまでの伝統をしっかりと受け継ぎ、新規の医療技術の導入とその教育普及活動に取り組みながら、地域の皆様に信頼される大学病院として更なる発展を目指しましょう。

令和5年度が地域社会の皆様にとっても、群馬大学医学部附属病院の職員にとっても実り多い一年となりますように、皆様のご活躍を期待しています。



も く じ

- 群大病院令和5年度体制のスタート ..... 1ページ
- 先端医療開発センターの役割について ..... 2ページ
- 新任挨拶 ..... 2ページ
- 患者支援センターからのお知らせ ..... 3ページ
- 群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座のお知らせ ..... 3ページ
- 第13回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会の開催報告 ..... 3ページ
- 思春期ルーム設置のためのクラウドファンディングについて ..... 4ページ
- 病院探検! 「遺伝子診療部」 ..... 4ページ
- 病状説明などの勤務時間内実施について ..... 4ページ

## 先端医療開発センターの役割について

令和5年4月に先端医療開発センターと臨床試験部が合併し、新たな1つの組織となり再出発した先端医療開発センターは、先端医療と臨床研究の推進役として3つの部署で構成されています（下図）。

「先端医療支援部」は、新しい技術や難易度の高い手術、新しい薬や機械を使った治療の実施をサポートします。また、最先端のがん診療であるがんゲノム医療や、バイオバンクのサポートも行っています。

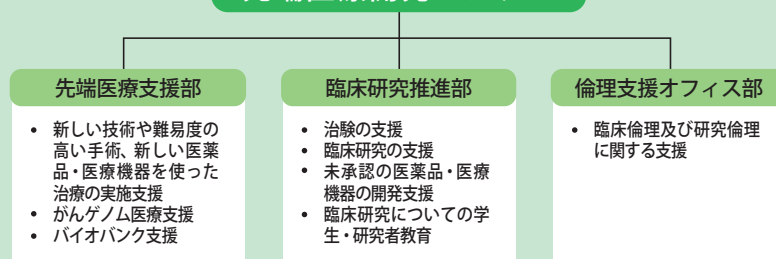
「臨床研究推進部」は、治験・臨床研究をサポート・管理します。治験は、新しい薬を国に医薬品として承認してもらうことを目的に、新薬のテストを行う研究です。学内の研究者が医学の発展を目的として実施する臨床研究も、計画段階から終了まで幅広くサポートしています。

「倫理支援オフィス部」は、診療や研究における倫理的問題についての窓口となり、解決に導くサポートをします。

群馬大学における先端医療及び臨床研究が、安全に実施され、新たな医療技術開発の促進に繋がられるよう尽力しています。



### 先端医療開発センター



## 新任挨拶

先端医療開発センター センター長 **大山 善昭**



2023年4月1日より先端医療開発センターのセンター長・教授となりました大山善昭と申します。先端医療開発センターは、難易度が高い手術や、新しい医薬品、医療機器などを使用する最先端の「診療」と、医学の発展のために行う「研究」を支援する部署です。大学の先端医療及び臨床研究がますます発展していくよう、センター一丸となって頑張っていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

医療の質・安全管理部 部長 **田中 和美**



2023年4月より医療の質・安全学／医療の質・安全管理部の教授に着任いたしました。医療の質・安全管理部は安心安全な医療の提供のために、医師、看護師、薬剤師と事務部スタッフの多職種のチームで協同して活動しています。安心安全な医療の提供には、患者さんやご家族もチームの一員としたチーム医療の推進が欠かせません。皆様との対話を通じて、納得のいく医療につなげて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 患者支援センターからのお知らせ

ご挨拶



患者支援センター センター長 小和瀬 桂子

令和5年4月より、鈴木和浩先生の後任として患者支援センター長に着任いたしました小和瀬桂子と申します。

当センターは、地域連携、患者相談窓口、入退院センター、退院調整、がん相談支援センター、難病相談支援センター、脳卒中相談窓口、セカンドオピニオン外来の部門で構成されております。医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、事務職員を合わせて総勢約40名のスタッフからなり、患者さんに安心して治療を受けていただくための様々な取り組みを行っております。相談窓口では、医療福祉、社会保障制度、経済的な問題などについての相談や、がんや難病に関する相談など、様々な相談を受け付けております。また、地域の病院や診療所との連携として、FAX予約やセカンドオピニオンなども受け付けております。以上のような取り組みを通して、患者さんが安心して医療を受けられるようサポートしていく所存ですので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座のお知らせ

群馬県のがん対策推進を目指し、「群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座」を、当院ホームページにおいてオンデマンド配信をしております。今回は、群馬大学大学院医学系研究科総合外科学講座肝胆膵外科学分野教授の調憲先生と群馬県立県民健康科学大学看護学部教授の狩野太郎先生からご講演をいただいております。昨年同様多くの皆様にご視聴いただければ幸いです。配信期間は令和5年9月1日～令和5年11月30日までとなっております。

**オンデマンド配信 視聴無料** **市民講座**

配信期間 2023年9月1日(金)～2023年11月30日(木)

※期間中はいつでも視聴可能です。

**プログラム**

第1回 講師 調憲 先生 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター副センター長  
 群馬大学医学部附属病院 がん科 調憲 先生

**「知っておきたい肝がんの最新治療」**

群馬大学大学院医学系研究科 総合外科学講座 肝胆膵外科学分野 教授 調憲 先生

第2回 講師 狩野 太郎 先生 群馬県立県民健康科学大学 看護学部 教授 狩野 太郎 先生

**「がん化学療法に伴う味覚変化の特徴と対処のポイント」**

群馬県立県民健康科学大学 看護学部 教授 狩野 太郎 先生

WEB 配信方法 群馬大学医学部附属病院ホームページから視聴いただけます。ご自宅でもお好きな時間に視聴いただけます。URL: <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/?p=12646>

TEL: 027-220-7854 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター

共催 群馬県がん診療連携拠点病院 / 群馬県 / 群馬大学医学部附属病院

申込不要

### 第13回 群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会の開催報告



令和5年7月27日(木)に、群馬県医師会ならびに郡市医師会の先生方や地域医療連携登録施設の皆様及び群馬県内医院の皆様をお招きし、第13回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会を開催いたしました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、群大病院臨床大講堂及びZoomミーティングによるハイブリッド形式での開催となりましたが、計197名と多くの方々にご参加いただき、盛況のうちを会を終えることができました。

お忙しい中ご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。

群大病院は、地域に根ざした病院として、今後も地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、群馬県の医療に貢献していく所存です。皆様の変わらぬご指導とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。



## 思春期ルーム設置のためのクラウドファンディングについて

小児科 滝沢 琢己



投票で決定した思春期ルーム  
の名称とロゴです

北3階小児病棟に、思春期の子どもたちが自由な時間を過ごすための設備である思春期ルームを設置するために、クラウドファンディングでの資金集めに挑戦しました。関係各位からのご支援のもと、2か月間で予想を大幅に上回る寄附を頂くことが出来ました。あらためて感謝いたします。関係者だけでなく、全国各地の多くの方々から寄附と応援の言葉を頂き、私たちの思いが届いたと感じています。部屋は、Teens Terrace (ティーンズテラス) という名前で今年度中に開設する予定です。病気療養中の子どもたちが少しでもリラックスできる空間を提供したいと考えています。

### 病院探検！「遺伝子診療部」

#### 安心・安全な遺伝医療を受けていただくために

遺伝子診療部では、遺伝的な要因が疾患（病気）の発症に関係していると考えられる患者さんに対して、遺伝の仕組みや、病気に関連する遺伝子についての説明、血縁者の方への対応など幅広くカウンセリング（遺伝カウンセリング）を行なっています。必要に応じて、遺伝学的検査も行います。

近年は、がんパネル検査の結果判明した遺伝学的問題や、NIPT(無侵襲的出生前遺伝学的検査)に対応する症例が増えてきております。



遺伝子診療部

## 病状説明などの勤務時間内実施について

### —ご協力のお願い—

病院に勤務する医師の長時間労働・過重労働が社会的に課題となっております。当院でも、「働き方改革」の一環として、医療従事者の働き方の見直しを推進しています。改善方法の一つとして、医師による病状や手術に関する説明時間は、原則として、

**平日の勤務時間内 8:30～17:00 までとさせていただきます。**

※原則、平日の夜間・土日祝は実施いたしません。



病状の変化により緊急に説明が必要と判断した場合は、適宜対応いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第15号 2023年9月

編集 ■ 群大病院だより編集委員会

発行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2023年9月1日

ホームページ ■ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

#### 病院の理念

大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

#### 基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。  
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。  
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。  
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。